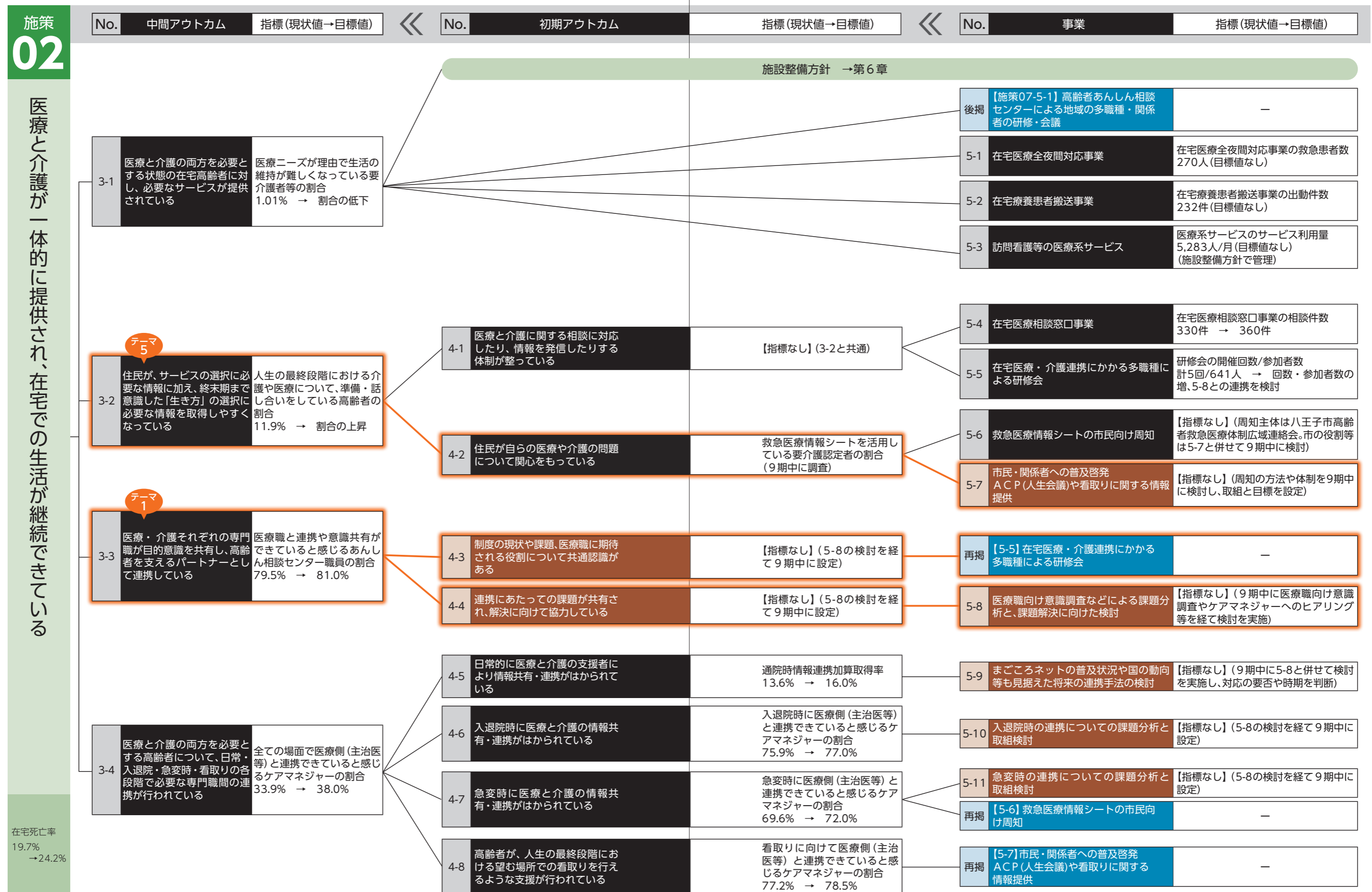
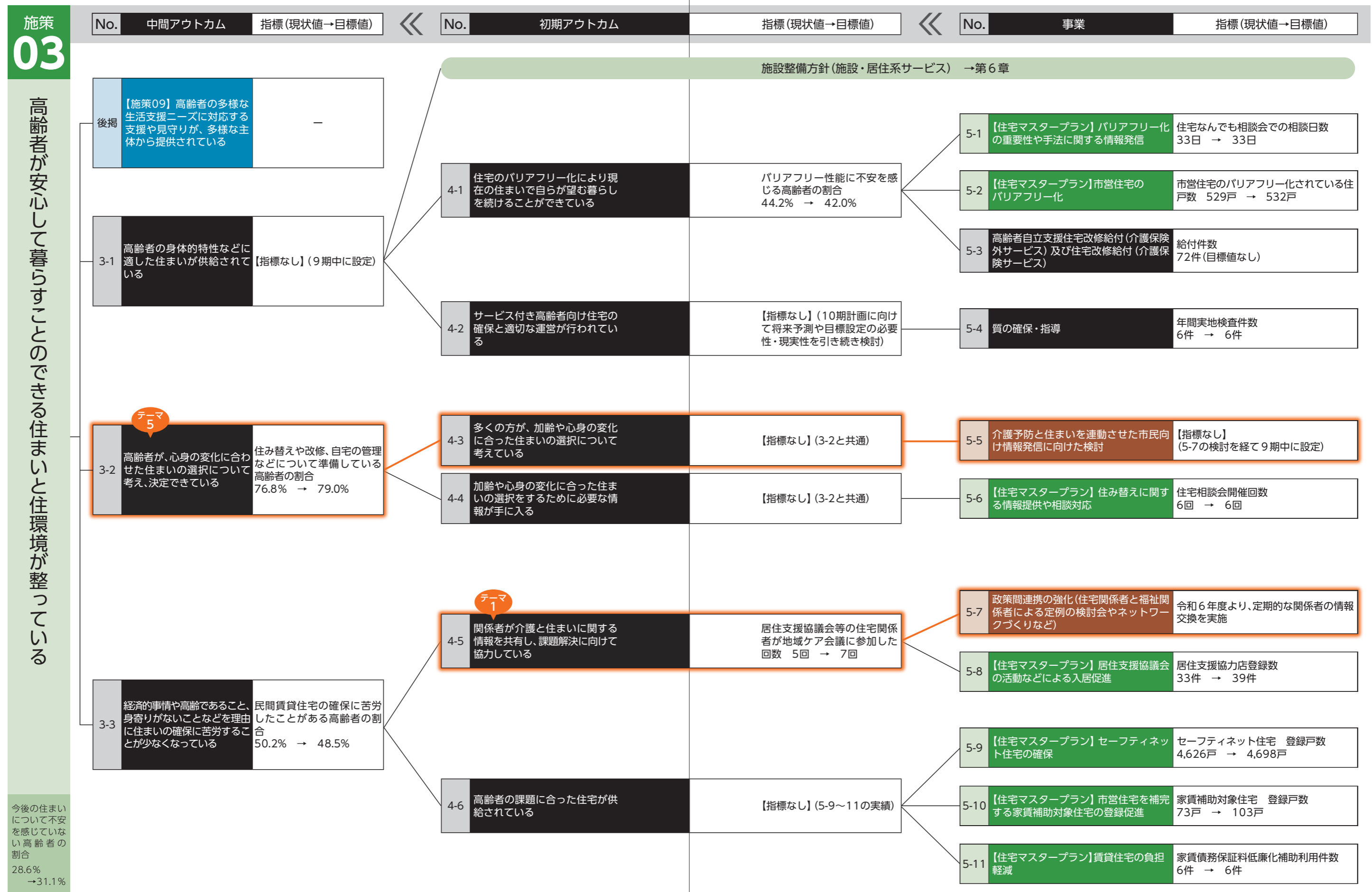


このページの見方

- 見開きの左：施策目標(1)と、施策目標の達成度を測る指標(2)と現状値(3)・目標値(4)
- 見開き全体：施策目標達成への道のりを、右から具体的な取組(5)、取組による初期の成果(6)、中間的な成果(7)の順に白字で記載。それぞれの達成度を測る指標(8)と現状値(9)・目標値(10)を黒字で記載。
- 指標・目標値は基本的に数字で表せる(定量的な)ものとしていますが、「特定のイベントを実施する」「計画期間中に検討し、具体的な取組を開始する」など、数値化できない(定性的な)指標も含まれます。
- 現状値は、令和5年(2023年)9月末時点での令和5年度末の見込み値となっているものがあります。
- 色について：青い枠(1)などは、他の施策目標ページに掲載されているアウトカムや取組です。例えば施策目標13のアウトカム3-1に後掲する場合は、番号欄に「後掲」と記載し、アウトカム・取組内容(白字部分)の先頭に【施策13-3-1】と記載しています。茶色(6)などは本計画で新たに掲載するもの、緑(12)などは他の計画・制度で達成を目指すものです。
- 8つの重要テーマ(P37~39)に関連するアウトカム等は、13のようにオレンジの枠で強調しています。

2
介護保険サービスの満足度
94.8%
→割合の上昇
3
4



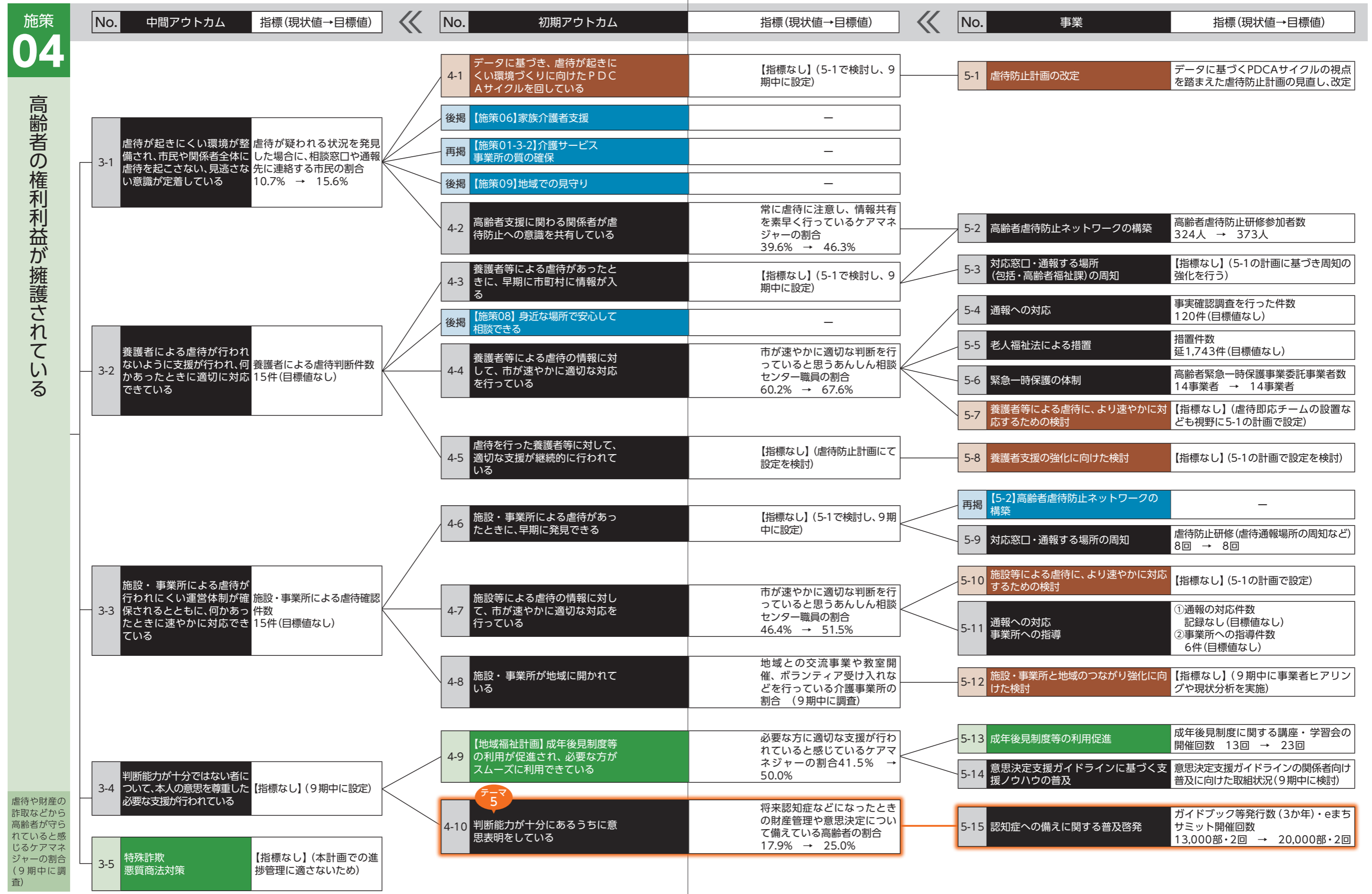


今後の住まいについて不安を感じていない高齢者の割合
28.6% → 31.1%

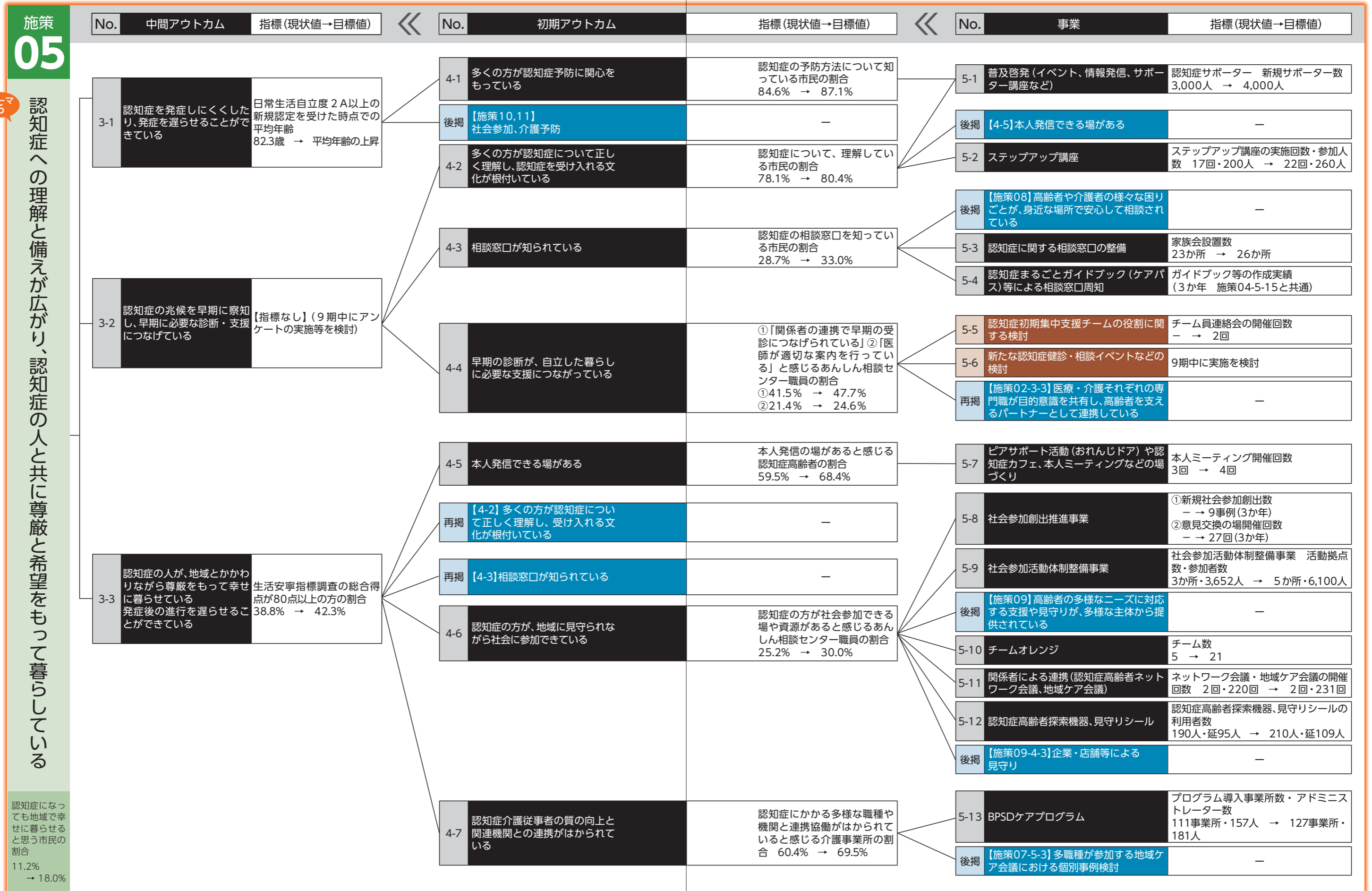
施設整備方針(施設・居住系サービス) → 第6章

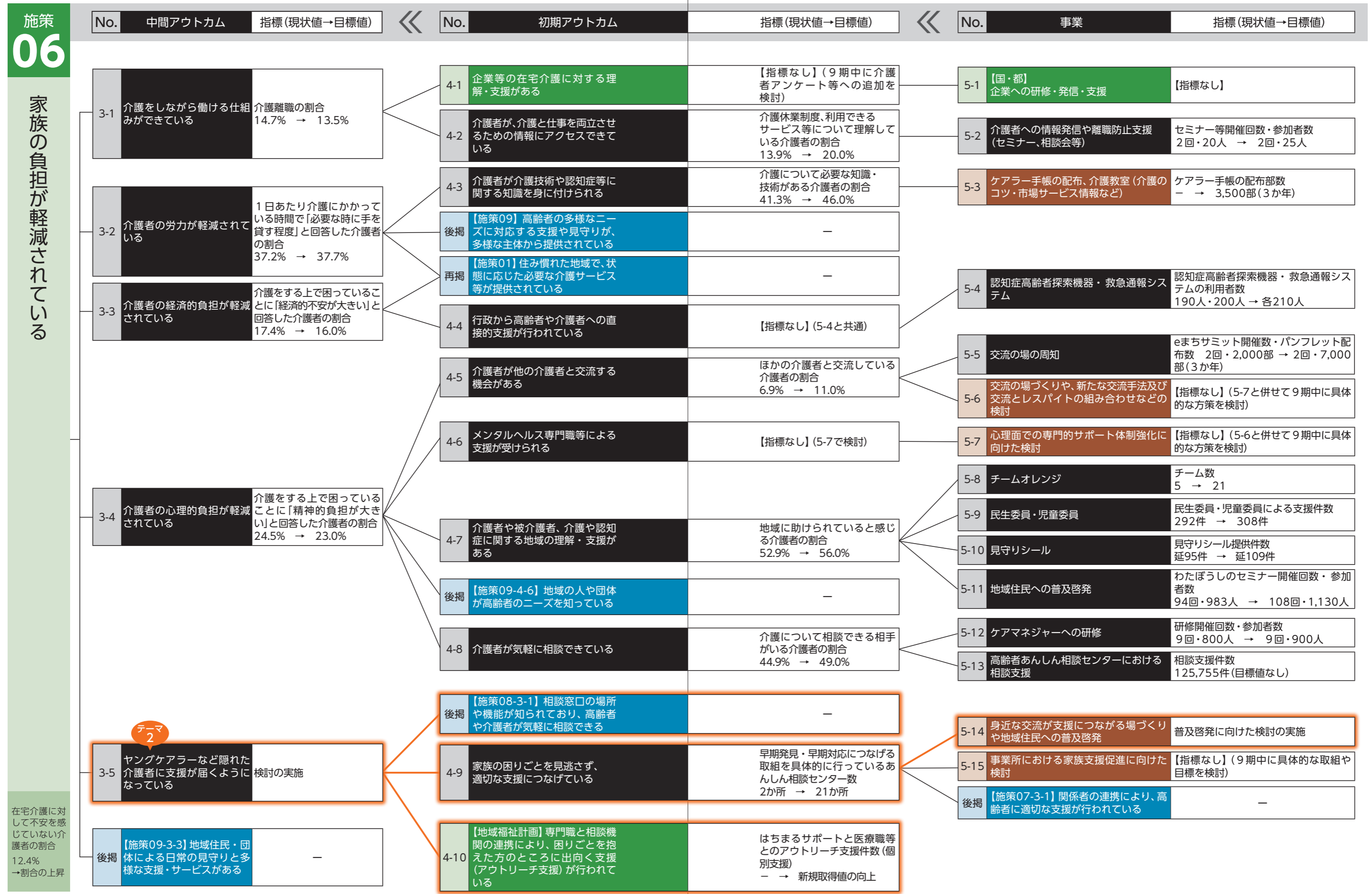
テーマ5

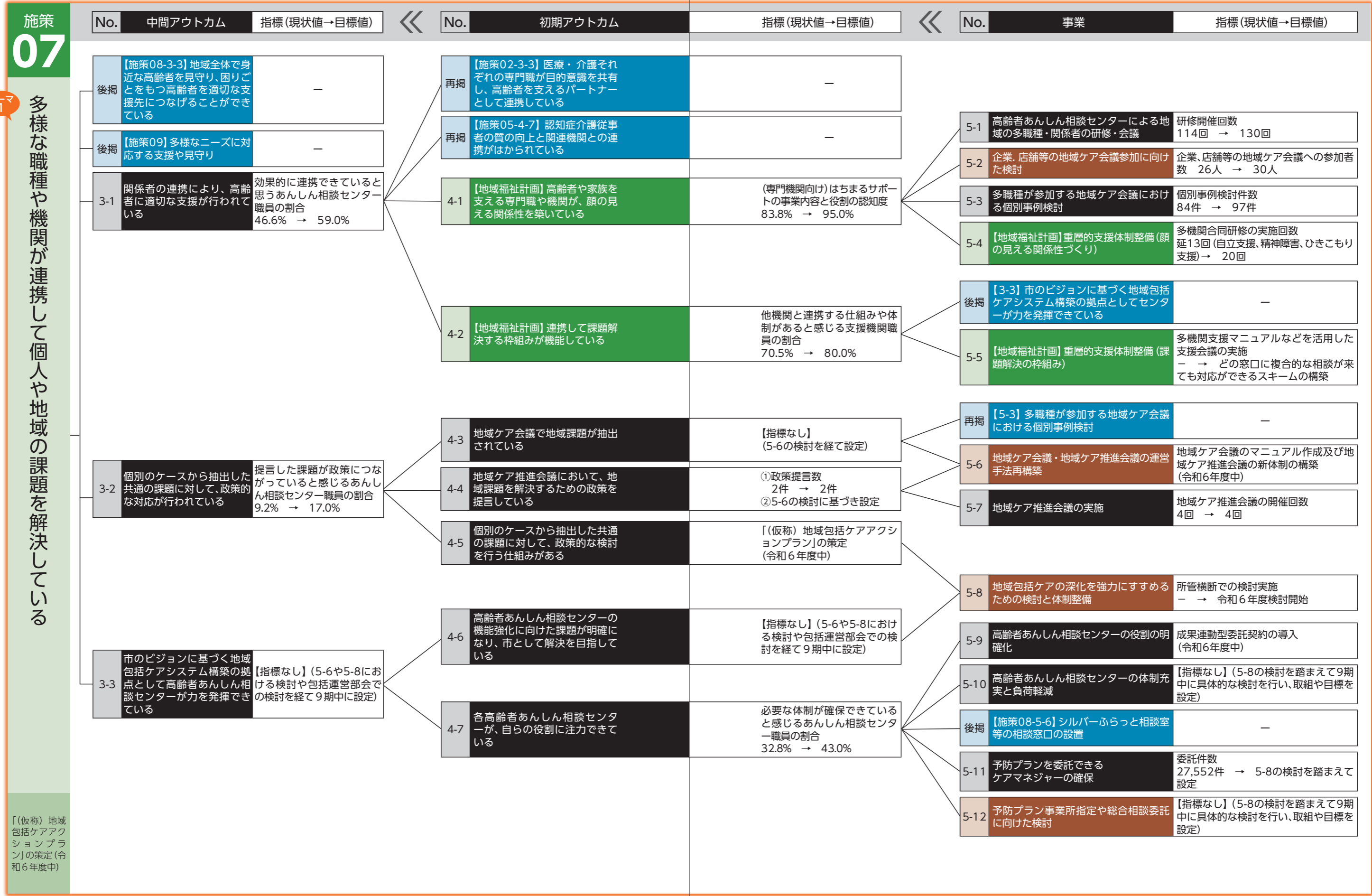
テーマ1

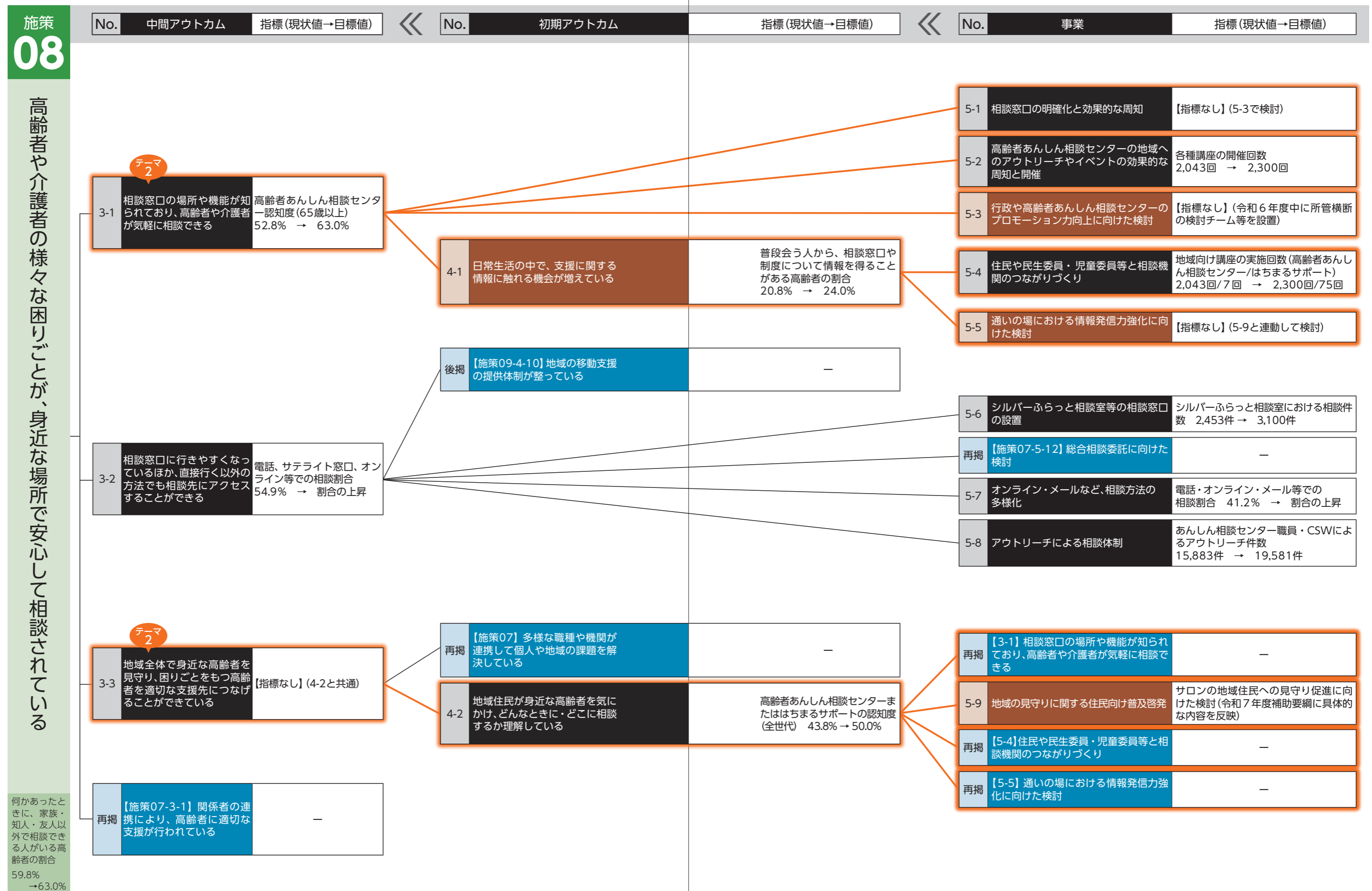


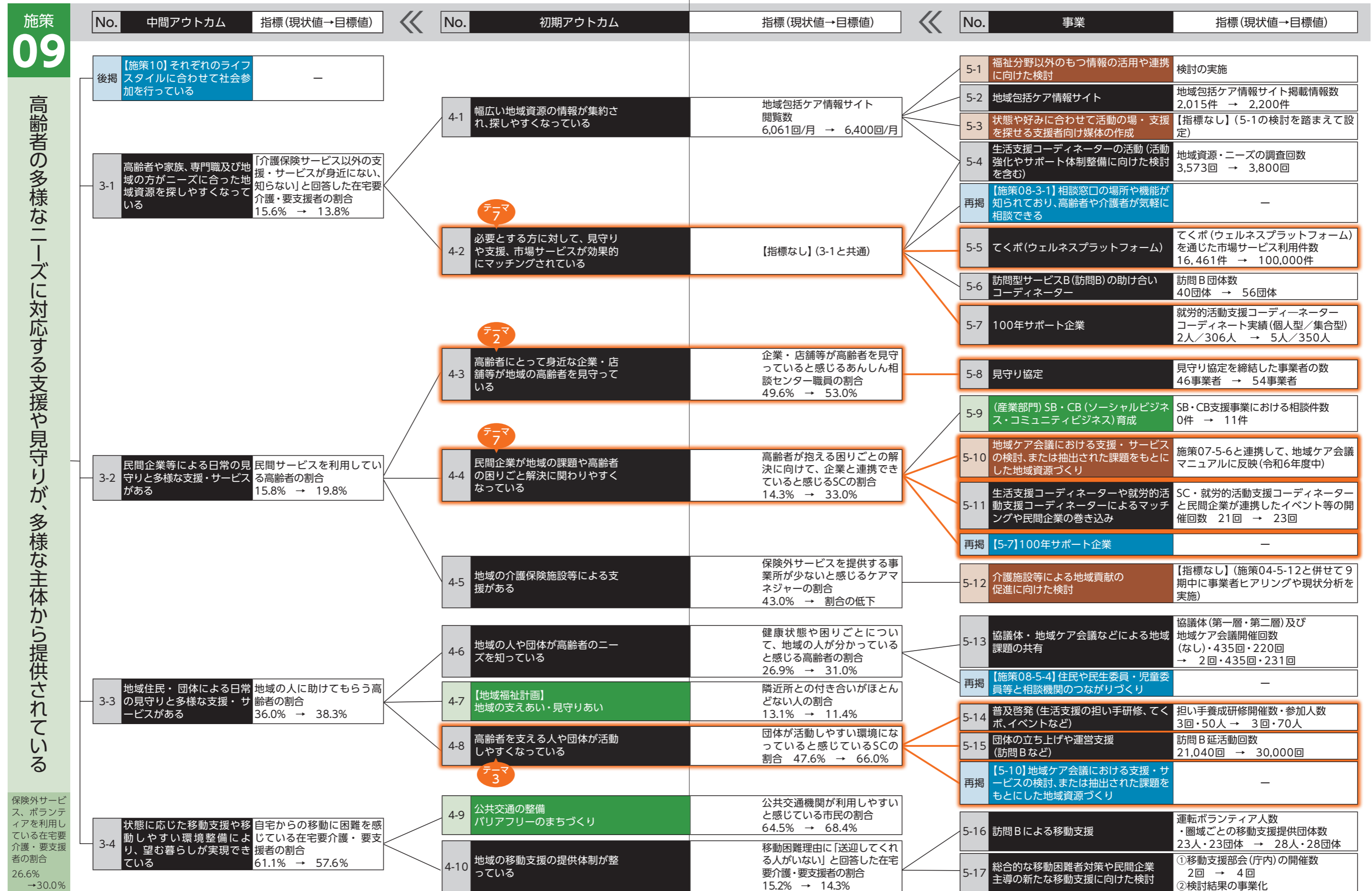
虐待や財産の詐取などから高齢者が守られていると感じるケアマネジャーの割合(9期中に調査)

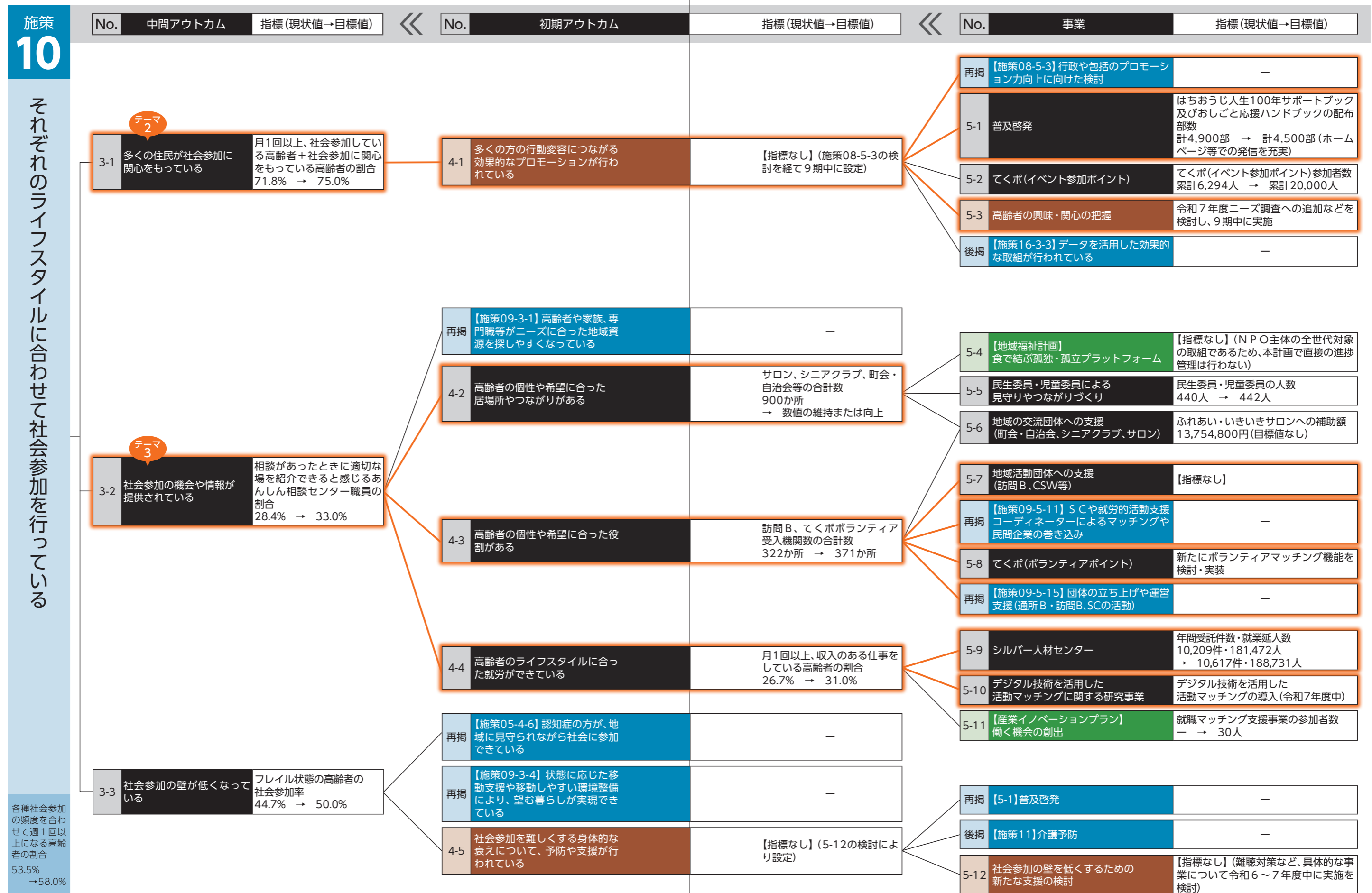


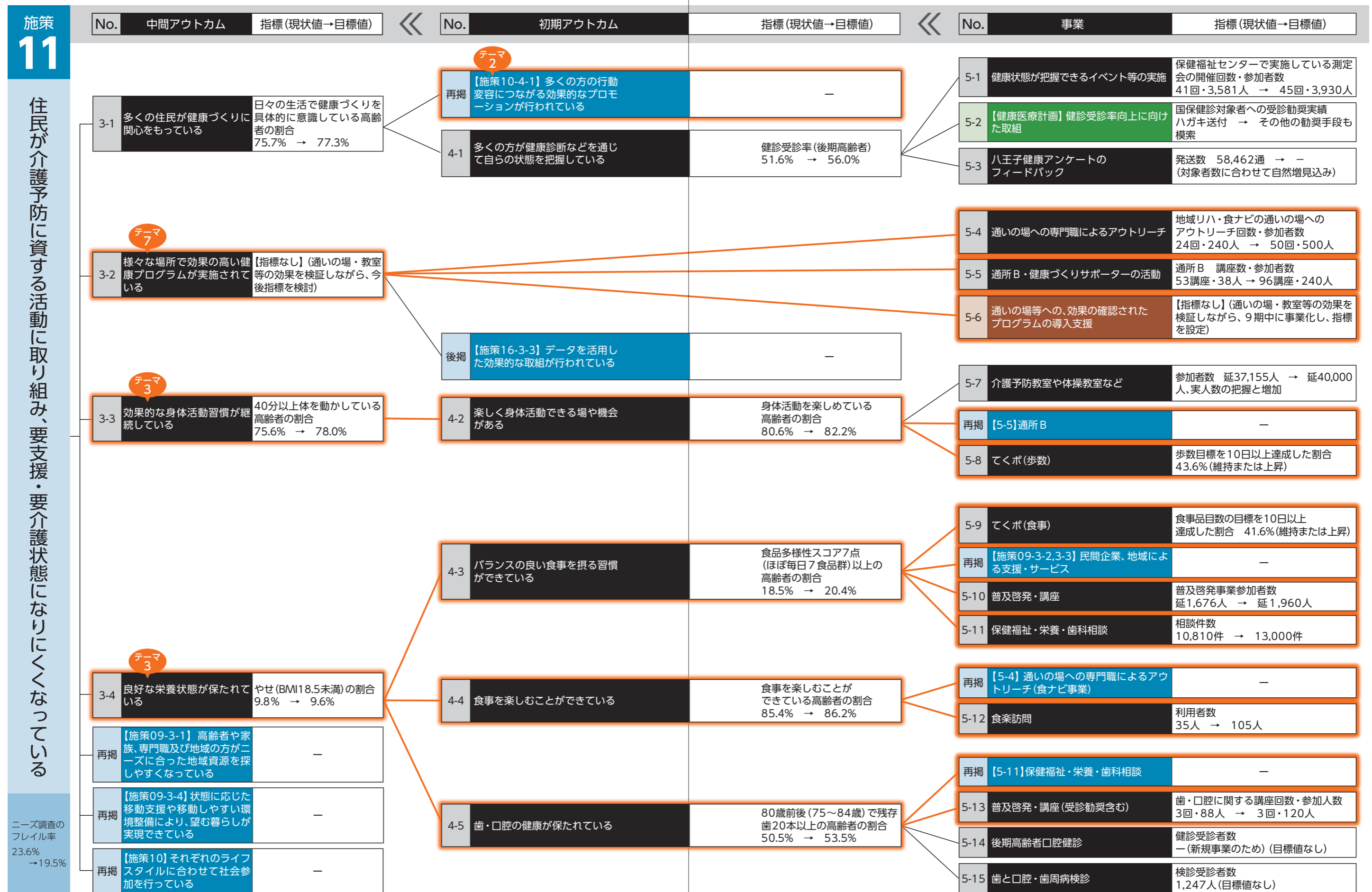










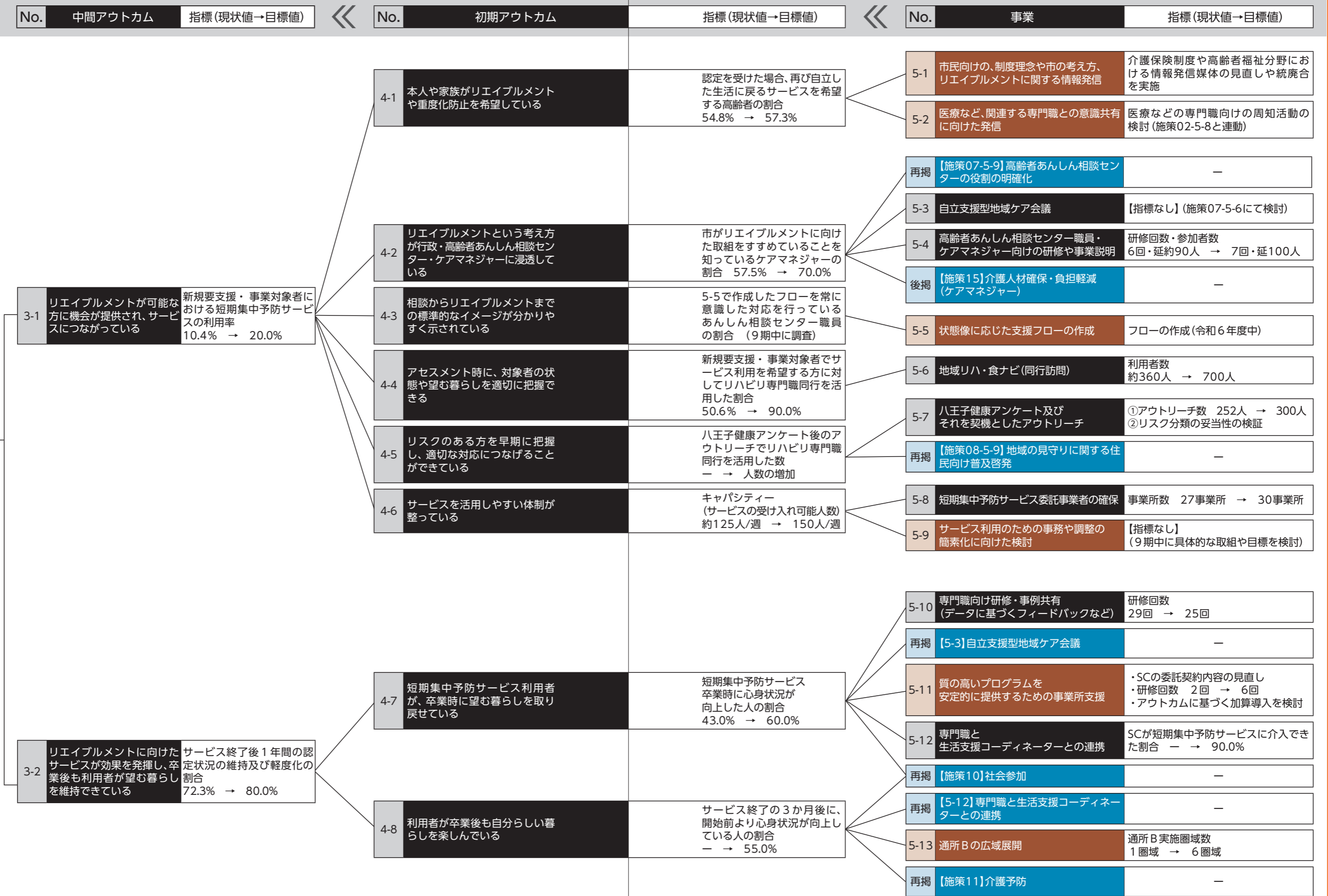


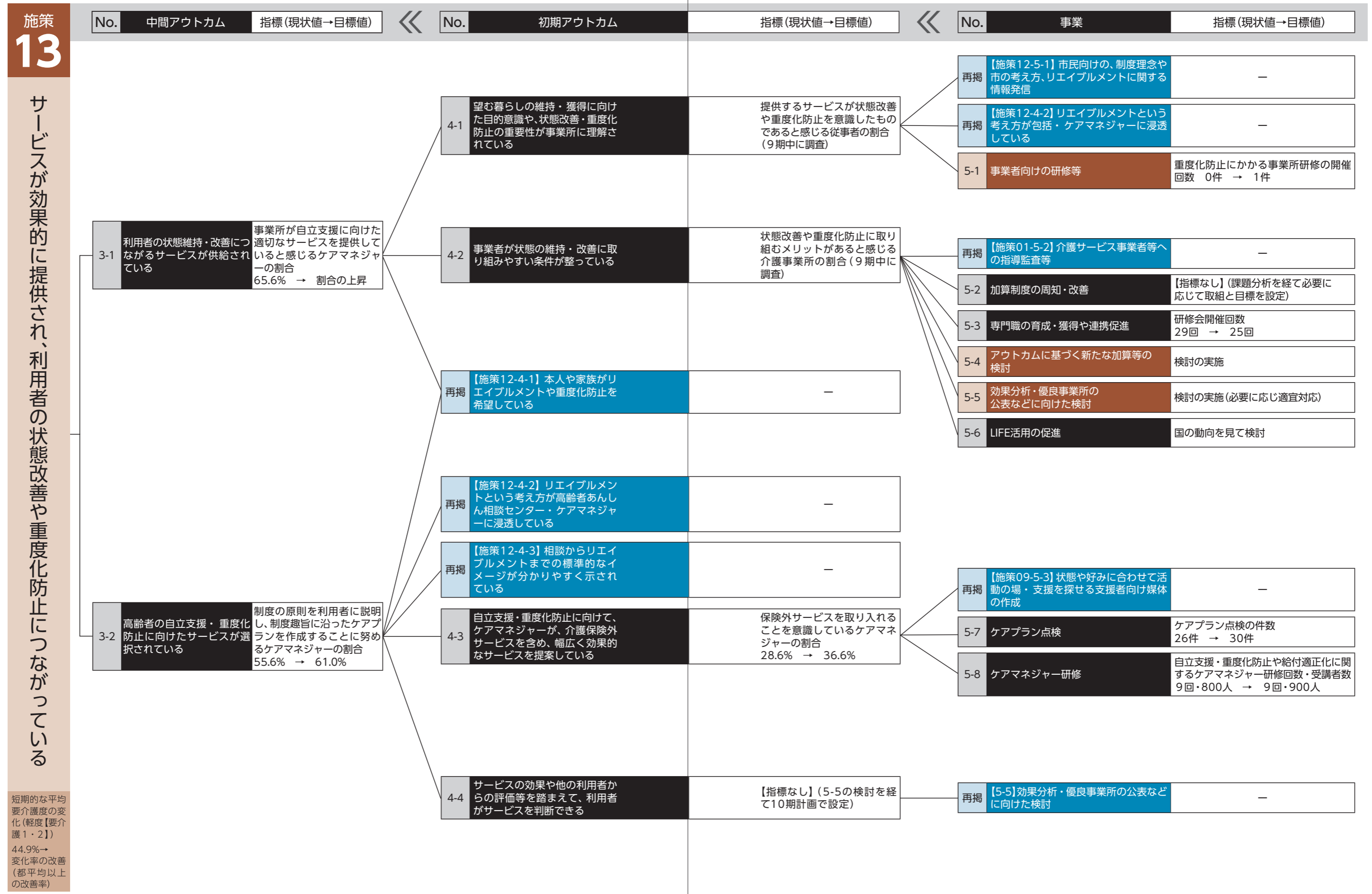
施策 12

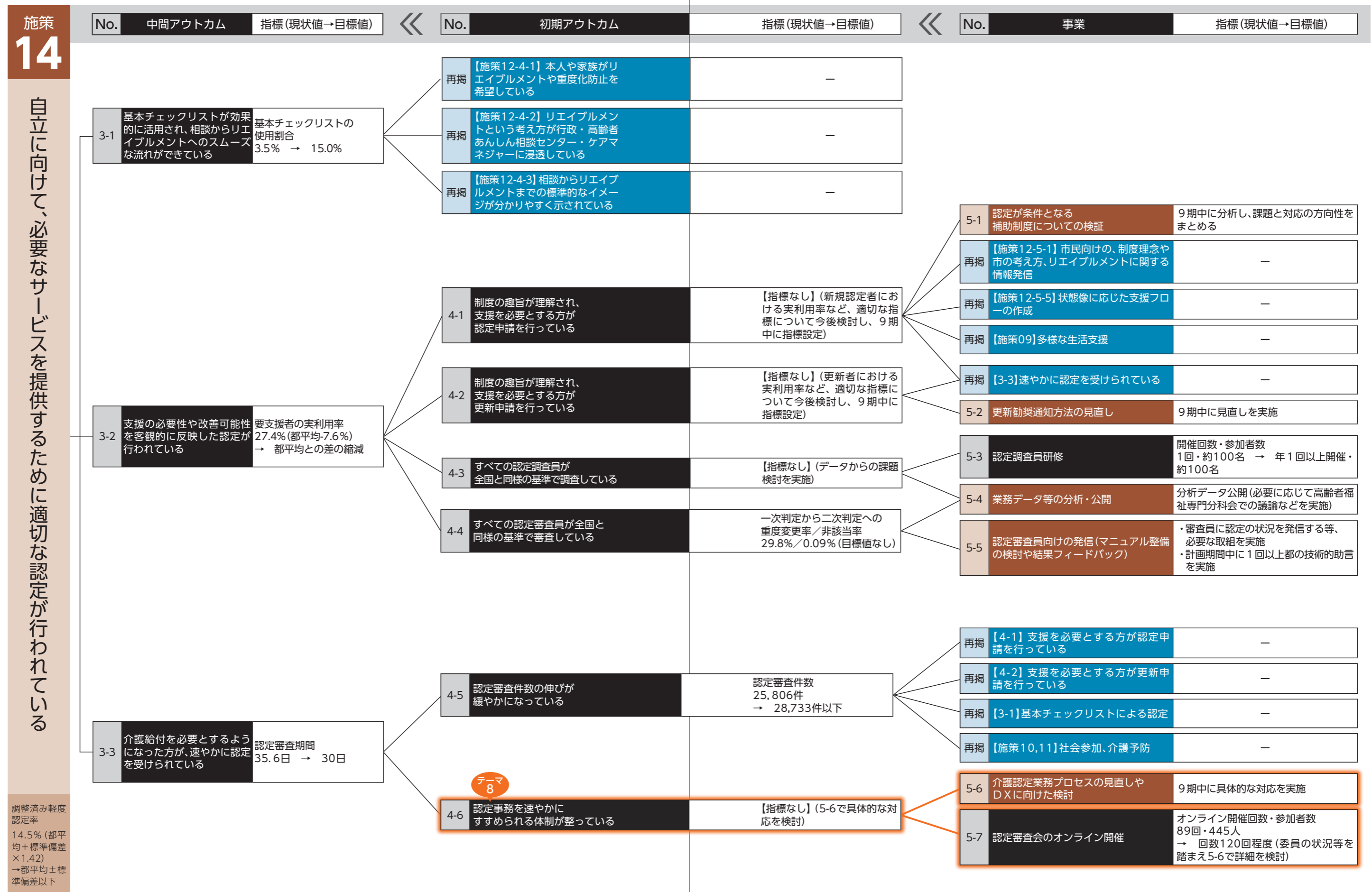
テーマ 3

望む暮らしの再獲得(リエイブルメント)が可能になっている

要支援から要介護認定に変化した人の割合 19.2% →割合の低下





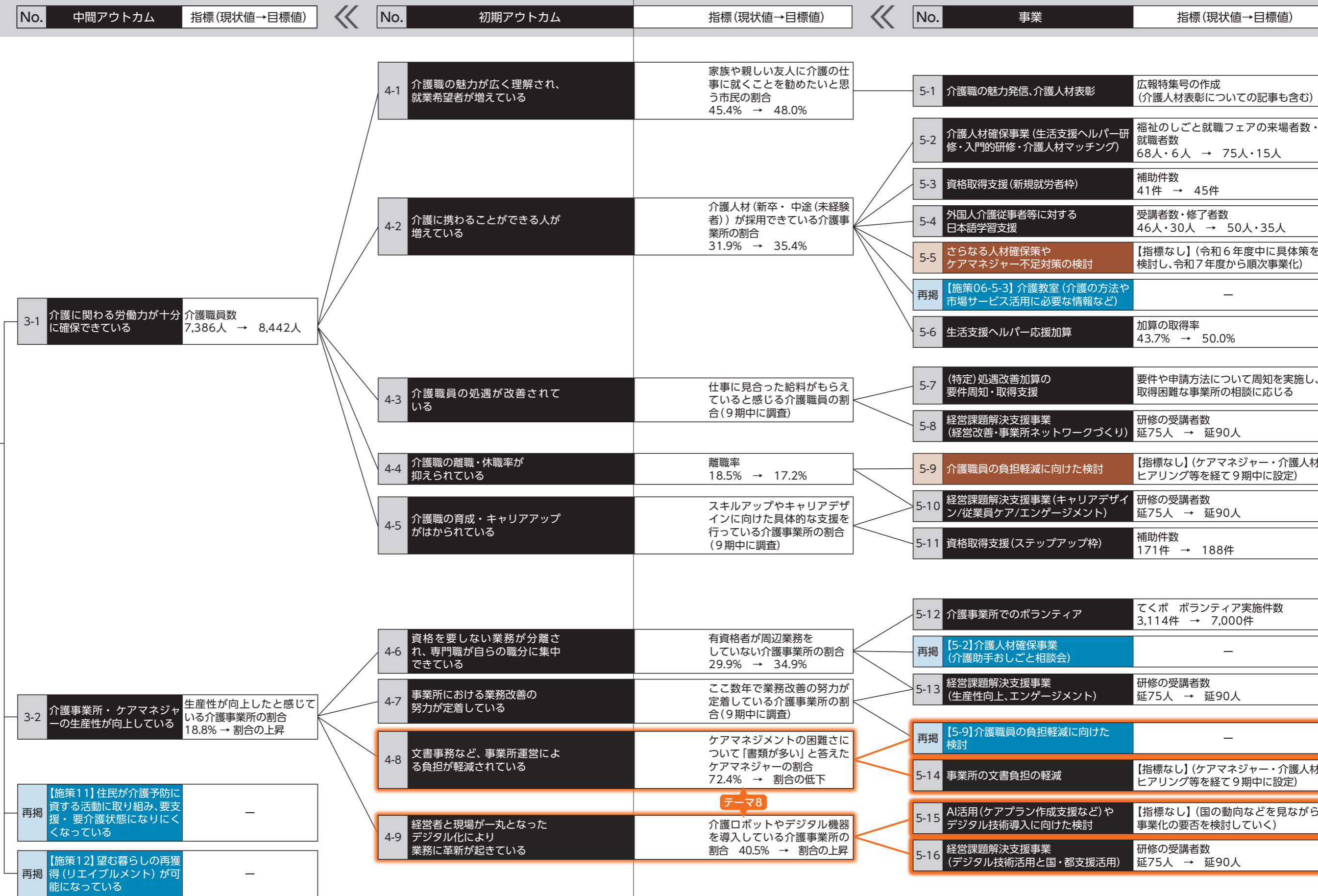


施策 15

テーマ4

介護人材が十分に確保され、やりがいを感じながら、無理なく、効率的に働いている

介護人材の不足を感じている介護事業所の割合 61.5% → 割合の低下



テーマ8

施策
16

テーマ

高齢者福祉や介護保険事業について、EBPMの考え方や手法が定着している

5-3で棚卸した事業全体のインプットに対するアウトカムの比率(事業の棚卸し後設定)

